

☆ 世 界

繊維需要

世界の繊維需要、8年連続で拡大---2016年

Fiber Organon が 2016 年の世界の繊維需要と化繊生産を発表した。それによると、繊維需要は前年比 1.7%増、化繊生産は 2.8%増と 8年連続で増加しており、世界的にみた繊維市場は依然、拡大が続いている。

1. 2016年の世界の繊維需要

2016年の世界の繊維需要は、前年比 1.7%増の 9,530 万トと 8年連続で増加した。このうち化繊が 2.8%増の 7,043 万ト、天然繊維が 1.4%減の 2,486 万トであった。

化繊の内訳は、セルロース繊維が 2.2%増の 526 万ト、合繊(オレフィン繊維除く)が 2.9%増の 5,969 万ト、オレフィン繊維が 3.0%増の 550 万トとなった。

一方、天然繊維は、綿(コットン)が 1.6%減の 2,323 万トと減少し、羊毛は 1.1%増の 117 万トと増加に転じた。

表1. 世界の繊維需要

(1000ト、%)

品 種	2014	2015	2016	前年比
セルロース	4,969	5,142	5,256	2.2
合繊(オレフィン除く)	55,885	58,016	59,686	2.9
オレフィン	5,241	5,331	5,492	3.0
化繊計	66,094	68,489	70,433	2.8
綿	24,338	23,600	23,234	-1.6
羊毛	1,144	1,157	1,170	1.1
麻(リネン)	241	252	248	-1.6
絹	178	202	210	4.0
天然繊維計	25,901	25,211	24,862	-1.4
総計	91,995	93,700	95,295	1.7

(出所) Fiber Organon、以下同様

(注) 化繊は生産、その他は消費統計に基づく

2. 地域別合繊生産

世界の合繊(オレフィン繊維を除く)生産量を、国・地域別で見ると、中国は前年比 3.9%増の 4,127 万トと増加し、世界全体に占めるシェアは前年の 68.4%から 69.1%へと 0.7 ポイント拡大した。中国に次ぐ生産国のイ

インドは5.1%増の502.8万ト。シェアは8.4%で、世界全体に占める両国シェアの合計は77.5%と4分の3以上となっている

アジアではASEANが2.0%減、バングラデシュやパキスタンを含む「その他アジア」が2.3%増と、いわゆるアジア新興国での生産の伸び率は前年より緩やかとなった。日本(6.7%減)や台湾(2.6%減)では減産傾向が続き、韓国は1.7%減と減少に転じた。

欧米では、西欧とトルコを加えた地域が0.1%増、東欧・CISが10.3%増となった。米州は、米国が0.01%減、その他米州も3.8%減となった。

表2. 世界の地域別合繊生産

(1000ト、%)

国・地域	2014	2015	2016	前年比	同増減	構成比
日本	560	544	507	-6.7	-37	0.9
中国	37,796	39,722	41,271	3.9	1,549	69.1
韓国	1,654	1,679	1,651	-1.7	-29	2.8
台湾	1,892	1,845	1,798	-2.6	-48	3.0
ASEAN	3,146	3,230	3,166	-2.0	-64	5.3
インド	4,596	4,784	5,028	5.1	244	8.4
その他アジア	629	644	658	2.3	15	1.1
西欧+トルコ	1,875	1,889	1,890	0.1	1	3.2
東欧・CIS	458	475	523	10.3	49	0.9
米国	2,011	1,963	1,962	-0.0	-0	3.3
その他米州	736	699	673	-3.8	-26	1.1
中東・アフリカ・オセアニア	532	542	558	3.0	16	0.9
世界計	55,885	58,016	59,686	2.9	1,670	100.0
中国以外の計	18,089	18,294	18,415	0.7	121	30.9

(注)オレフィンを含まない

3. 品種別合繊生産

オレフィンを含む合繊生産は2.8%増の6,517万トとなった。主要品種は、長繊維では、ナイロンFが2.4%増の454万トと増加に転じ、ポリエステルFが3.1%増の3,579万トと続伸した。一方、短繊維は、ナイロンSが11.3%増、ポリエステルSが1.8%増と増加したが、アクリルSは1.6%減少した。

オレフィンは、長繊維が2.2%増の451万ト、短繊維が6.2%増の99万トと、いずれも増加に転じた。

表3. 世界の品種別合繊生産

(1000トン、%)

品種	2014	2015	2016	前年比
アクリルS	1,781	1,717	1,691	-1.6
ナイロンF	4,359	4,432	4,543	2.4
ナイロンS	168	182	203	11.3
ポリエステルF	33,023	34,662	35,782	3.1
ポリエステルS	15,498	15,937	16,239	1.8
オレフィンF	4,344	4,404	4,507	2.2
オレフィンS	896	927	985	6.2
その他	1,057	1,086	1,229	13.1
総計	61,125	63,347	65,178	2.8

4. セルロース繊維生産

セルロース繊維の生産は前年比 2.2%増の 525.6 万トンと 6 年連続の増加となった。国・地域別では、中国が 2.7%増の 345 万トンとなったほか、インドが 7.6%増の 55.5 万トン、タイが 1.1%増の 14 万トンであった。西欧とインドネシアは、ほぼ横ばいにとどまった。一方で、台湾が 15.3%減と大幅に減少した。

品種別では、衣料・家庭用に使用される普通レーヨン F(キュブラを含む)が 5.5%減の 24.1 万トンと減少が続き、タイヤコードなどで使用される強力レーヨン F は 7.4%増の 5.8 万トンと増加が続いた。また、レーヨン S は 2.7%増の 491.7 万トンとなり、増加傾向が続いている。

表4. 世界のセルロース繊維生産

(1000トン、%)

国・地域	2015	2016	前年比	品種	2015	2016	前年比
日本	65	65	0.8	強力レーヨンF	54	58	7.4
中国	3,360	3,452	2.7	普通レーヨンF	255	241	-5.5
インド	516	555	7.6	アセテートF	46	40	-13.1
インドネシア	509	512	0.6	レーヨンS	4,786	4,917	2.7
台湾	126	107	-15.3	計	5,141	5,256	2.2
タイ	139	140	1.1	(注)リヨセル繊維を含まない。			
西欧	382	383	0.3	世界のリヨセル繊維の生産能力は年産25万7,000トン。			
東欧・CIS	22	23	2.3	(推定、2017年3月時点)			
米国	23	19	-16.8	(注)普通レーヨンFはキュブラを含む。			
世界計	5,142	5,256	2.2				

5. オレフィン繊維生産

オレフィン繊維の生産は、前年比 3.0%増の 549.2 万ト。西欧は 2.0%増、米国は 2.7%増と増加に転じた。トルコ(1.1%増)、日本(1.6%増)、中国(8.6%増)、その他アジア(3.3%増)は、引き続き増加した。また、中東・アフリカ・オセアニアは横ばいだった。

品種別ではフィラメントが 3.1%増、ステープルが 6.3%増、スリット・フィルムファイバーは 1.8%増となった。

表5. 世界のオレフィン繊維生産

(1000ト、%)

国・地域	2015	2016	前年比	品種	2015	2016	前年比
西欧	802	818	2.0	フィラメント	1,718	1,772	3.1
トルコ	658	665	1.1	ステープル	927	985	6.3
米国	488	501	2.7	スリット・フィルム	2,686	2,735	1.8
日本	193	196	1.6	計	5,331	5,492	3.0
中国	942	1,023	8.6				
その他アジア	989	1,022	3.3				
中東・アフリカ・オセアニア	595	597	0.3				
その他	664	670	0.9				
世界計	5,331	5,492	3.0				